

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|----------|---|--|----|-----------|-----|--|
| 環境・体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 3 | 5 | 1 | 指導訓練室等スペースはなし。 |
| | ② | 職員の配置数は適切であるか | 4 | 5 | | |
| | ③ | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | 4 | 5 | | |
| 業務改善 | ④ | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | 5 | 2 | 2 | |
| | ⑤ | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 7 | | 2 | |
| | ⑥ | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 7 | 1 | 1 | |
| | ⑦ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 6 | 1 | 2 | |
| | ⑧ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 3 | 5 | 1 | 適宜研修に参加している。内容はスタッフ内で共有、伝達して周知できている。伝達講習を行っている。放課後等デイサービスに対する研修は予定なし。実施なし。 |
| 適切な支援の提供 | ⑨ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 6 | 3 | | |
| | ⑩ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | | 8 | 1 | |
| | ⑪ | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 1 | 7 | 1 | |
| | ⑫ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 5 | 4 | | |
| | ⑬ | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 1 | 6 | 2 | |
| | ⑭ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | 5 | 2 | 2 | 集団活動の計画は本人の状態や利用時間、状況に応じて変動多く、計画実施が難しい。 |
| | ⑮ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 6 | 3 | | |
| | ⑯ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか | 5 | 4 | | スタッフ内で意見交換を行い、気づいた点は話し合いの場を設けている。情報共有している。問題点等話し合い、共有し対応している。 |
| | ⑰ | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 7 | 2 | | 支援等記入している。 |
| | ⑱ | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 4 | 3 | 1 | |
| 関係機関や保 | ⑲ | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか | 1 | 6 | 1 | |
| | ⑳ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 4 | 4 | | |
| | ㉑ | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | 1 | 4 | 3 | 関係機関との繋がりが弱い。情報共有できていない。 |
| | ㉒ | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | 5 | 3 | | |

| | | | | | | |
|---------------------|-------------------------------------|---|---|---|---|--|
| 保護者との連携関係機関や保護者との連携 | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | | 5 | 3 | 現時点では情報共有できていないことが多い。今後、情報共有できるように努めていきたい。 |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | 1 | 6 | 1 | |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | | 3 | 5 | 現時点ではできていない。 |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | | 2 | 6 | 施設内では、外の施設に通う児童との交流はできていない。 他児との関わりは必要。 |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | | 2 | 6 | |
| | 28 | 目頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 6 | 2 | | 送迎時、状態等聞いたり施設での様子等伝え共通理解を行っている。 |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | 3 | 4 | 1 | |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 3 | 5 | | 契約時に説明し、了承を頂いている。 |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 5 | 3 | | 保護者から後見人制度に対して相談を受けたことがあり、勉強会への参加を勧めた。知りなかったことが理解できてよかったと喜んでいただいた。 |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 1 | 6 | 1 | ブランコへの参加を呼び掛けている。 |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 6 | 2 | | クレーム、インシデント事項については発生したらず報告を行い、適切な対応を行っている。スタッフ内で共有し、改善策や再発防止策を話し合っている。 |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 3 | 2 | 3 | |
| | 35 | 個人情報に十分注意しているか | 9 | | | 鍵のかかるロッカーへファイルを保管している。 |
| | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 6 | 2 | | |
| 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | | 5 | 3 | | |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 6 | 3 | | 勉強会などを通して伝達を行っている。 |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 9 | | | 避難訓練を実施している。 消防署の方に来てもらい、訓練を行っている。 |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 2 | 5 | 1 | スタッフが研修に参加し、伝達することで周知徹底を図っている。 |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 4 | 3 | 1 | 送迎時のシートベルト等、契約時説明を行い、同意を得ている。 |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 6 | 2 | 1 | |
| 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 9 | | | | |